

令和 8 年度 学校評価書 (計画段階)

福岡県立

修猷館

高等学校

47

<p>スクール・ミッション (本校の存在意義や社会的役割 目指すべき学校像)</p>	<p>世のため人のために力を尽くし、未来を創り出す、真のグローバルリーダーを育成する学校 全人教育を中心に据えた高度で先進的な教育活動を通じて、次代の福岡県、日本、国際社会をけん引する人材を育成します。</p>	
<p>スクール・ポリシー (三つの方針)</p>	<p>グラデュエーション・ポリシー (育成を目指す資質・能力に 関する方針)</p>	<p>【修猷を誇るな、修猷が誇る人となれ】【自浄作用】 ・後世に文化を継承していく使命と責任の自覚 ・知性と感性が調和した人間力豊かな実践的行動力 ・世界の現実を直視した高い志と国際的素養 ・内面的自覚を促し、礼節と倫理観、正義感をもった主体性 ・10年後、20年後の自己実現</p>
	<p>カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に 関する方針)</p>	<p>【知性の刺激、失敗を恐れない学び】【語りの文化】【根柢なき自信】 ・高い学力を豊かな知性に高める上質な授業 ・「文系・理系」「英数クラス・医進クラス」設置 ・「Sure You Can講座」「課題研究」の実施 ・外部人材活用:卒業生キャリアセミナー、出前授業、生徒海外派遣、東京研修等 ・「失敗から学ぶ」:生徒主体の運営による学校行事及び生徒会における自治的活動</p>
	<p>アドミッション・ポリシー (入学者の受け入れに 関する方針)</p>	<p>【高い目的意識と学習意欲】【挑戦】 ・本校の館風と文化に対し興味を抱く人 ・人格の完成を目指し、自らを鍛え文武両道を極めようとする逞しい人 ・人と人とのかわりて学ぶことを楽しめる人 ・自ら考え判断し、主体的に行動し、自己の行動に責任を持つ誠実な人 ・自他を尊重し、人の痛みのわかる感受性豊かな人</p>

<p>学校運営計画(4月)</p>			
<p>学校運営方針</p>	<p>【基本方針】本校教育の根幹を成す「世のため、人のため」の精神のもと、本校独自の館風「質朴剛健、不羈独立、自由闊達」を持つ修猷文化で温かく育みつつ、社会の変化や生徒の実態に機動的に対応する教育体制を確立し、一人一人の生徒が未来社会を切り拓くために必要な資質・能力の育成を図る。 【長期目標】 1 「全人教育」を中心に据えた教育活動の実践 2 次代の国際社会や日本を担う人材、グローバル・リーダーの育成 3 教育における先進性と地域における教育の役割を見据えた改革の推進</p>		<p>評価 (総合)</p>
<p>昨年度の成果と課題</p>	<p>年度重点目標</p>	<p>具体的目標</p>	
<p>生徒主体の場面を多く設定し、優れた指導力、統率力を持つリーダーの育成につなげていくことができ、今後も行事等を通して「世のため人のため」に尽力する人材を育成する。 時代の変化に対応する力と伝統を尊重する心を兼ね備えた生徒を育成する。 さらに、生徒個々に向き合う時間を大切に、学習や生活に困り感を持つ生徒に対する早期発見・早期対応を図る。</p>	<p>たくましい骨太の生徒育成 (「修猷を誇るな、修猷が誇る人となれ」)</p>	<p>修猷アイデンティティ(自治的・主体的行動、文武両道、豊かな知性、知の統合、豊かな人間性の涵養)と実践的行動力(逞しさ、創造性、協働性、リーダーシップ・フォロワーシップ、自浄作用)を意識させ、それを育成する多様な場や仕掛けを設定する。 「知性の刺激、失敗を恐れない学び、語りの文化」等、人と人との関わりの中で学ぶ修猷文化を生かし、生徒の未来を切り拓く多様な資質・能力を伸ばすために、挑戦、自他の個性の理解と尊重、命の大切さ、自尊感情・人権感覚、誇りと自信を重んじる生徒の育成を図る。</p>	
	<p>組織機能の活性化</p>	<p>校務分掌や学年、教科におけるコミュニケーションを一層充実させ、組織マネジメントの活性化を図り、多様化・複雑化する課題に対して組織的かつ機動的に対応し、適切に解決を図る。また、国や県が推進する教育DXの推進に適切に対応し、業務の効率化、働き方改革を推進する。 学習指導要領改訂に対応して変更した教育課程、学習評価、時制等の検証・改善を行うとともに、前期の区切り「大運動会」・学年の総仕上げとなる後期の「大文化祭」の二大学校行事を軸に、学校暦の更なる充実を図る。また、本校教育活動について、積極的な情報発信を推進する。</p>	
	<p>教師としての使命を果たす</p>	<p>本校が目指す生徒を育成するために、教師一人一人が学びの支援者・伴走者として、学校内・外の学びを活かしつつ、生徒の志の育成、学力の向上、人間性の涵養等に努める。 自ら進んで研究と修養に努め、教養と教科・教職の専門性を高め、指導力の向上を図る。特に、深い学びや探究的な学び、ICTを活用した学び等を通じて上質の授業を展開し生徒の進路保障に努める。</p>	

様式3

評価項目	具体的目標	具体的方策	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の項目等	生徒、保護者対象のアンケート (外部アンケート等)の結果等
教務部 教務課	生徒の知識・技能、思考力・判断力・表現力、学びに向かう力・人間性等を伸ばさせる。	基礎知識の習得、主体的な学習態度を養う教育活動を展開する。 教師が質の高い授業を展開し、生徒の学びの意欲を高める。 各種委員会や学年・分掌との連携を図る。	授業アンケート	
	教育課程や学習評価・時制を、本校の現状や課題に対応しながら、検証・改善する。	教育課程を運用していく中で、課題を整理し分析する。 観点別評価の状況を分析し、課題の共有を図る。 年間授業時数や時間割を調整・工夫することで、生徒・教員の負担軽減を図る。	授業アンケート	
教務部 庶務課	教育活動が円滑に行われるよう教育環境を充実させる	庶務委員を中心に、主体的に環境整備に取り組めるようにする。 生徒に、ものを大切に扱う姿勢を身に付けさせる。 他分掌と連携して環境づくりをすすめる。	保護者アンケート	
	業務の効率化を図り、教員の負担軽減を目指す	前年度までの反省を活かして行事運営を行う。 文書の発行方法を改善し、業務削減を目指す。 資料の整理を行い、誰にでも引き継ぎやすい体制を作る。	保護者アンケート	
生徒部 生徒支援課	生徒の自治的・主体的行動を促す	教職員の共通認識のもと生徒の内面的自覚を促し、倫理観や責任感を醸成する。 地域社会との共存について、モラル・マナーや倫理観を醸成する。 活動支援課と連携して生徒間の情報発信や問題提起の環境づくりに努める。	学校生活アンケート	
	生徒が安心して過ごせる環境を守る	防災教育・安全教育等により、危機管理・安全意識の向上を図る。 長期欠席等に関しては、情報の共有、早期対応に努め、外部専門機関を積極的に活用する。 いじめの未然防止・早期発見に努め、個別の事案については組織的・継続的に取り組む。	いじめに関するアンケート、学校生活アンケート	
生徒部 活動支援課	生徒による自治的活動を通じた修猷アイデンティティと行動力の育成	行事の意義を共有し、生徒の自治的活動を組織的に支援する体制を整える。 生徒会活動や学校行事における他者との関わりを充実させる。 自治組織の運営を支援し、学校を牽引するリーダーを育成する。	学校生活アンケート	
	部活動を通じた文武両道の精神と心身ともに健康な生徒の育成	生徒による自治的活動への支援体制を整え、リーダーシップと自浄力を育成する。 職員間で連携して、部活動生への学校生活全般に関する指導を行う。 活動場所の整備を生徒が自治的に行えるよう、職員間で連携して指導を行う。	生徒意識調査	
進路部 進路支援課	次代の国際社会を担う人材としての高い志を持ち、主体的に努力する力を育成	各種講演会など校内・校外の研修への積極的な参加を促進する。 補習や課外の持続可能かつ効果的な形態を検討する。 推薦入試資料を整え、面接や小論文の指導体制を強化する。	生徒意識調査	
	進路・進学支援を通して国際的素養を育み、知的好奇心を持ち、自ら学ぶ姿勢を育成	進路説明会や各種セミナーなどを通して、キャリア教育を推進する。 模試や入試結果を分析し、次年度に向けた対応策を検討する。 進路情報や進路指導室の活用を推奨し、支援体制を強化する。	生徒意識調査	
進路部 広報課	地域の小・中学生と保護者に本校の魅力を伝える広報行事の企画運営	説明会とふれあい教室で本校の魅力を発信する。 小・中学校や塾と情報交換し関係を深める。 修猷フェスト等で魅力発信と意見交換を行う。	生徒・保護者アンケート(参加者)	
	広報活動を通じて本校生徒の創造性、主体性、協働性、リーダーシップを育成	生徒部と連携し、広報活動を通じてリーダーシップを育成する。 説明会やイベントで生徒に思いを伝える機会を提供する。 公式サイトにおける生徒作成のコンテンツを充実させる。	生徒・保護者アンケート(参加者)	

様式3

教養部 研究支援課	職員研修及び教育実習の適切な運営と教育研究の充実	相互授業参観週間を年2回実施し、議論を深める機会を提供する。 教員の年間聴講制度を支援し、教員の成長を促進する。 研究授業を計画的に実施し、実践の改善を進める。	保護者アンケート	
	「総合的な探究の時間」の運営支援	学年や分掌と連携をして、取り組みを充実させる。 出前授業やキャリアセミナーで外部連携と生徒の参加を促進する。 課題研究で生徒の実践力を高める機会を提供する。	生徒意識調査	
教養部 図書課	朝読書を核とした活字文化推進を目指して、全校的取り組みを実施する	教職員と生徒で朝読書の理念を再確認し、朝読書をともに楽しむ。 読書会やビブリオバトルを実施し、文学を通じた交流を促進する。 教職員と生徒が読書体験を分かち合い、生徒の読書意欲を喚起する。	学校生活アンケート	
	生徒図書委員会の主体的行動力向上と施設の適正管理と利用の促進を目指す	図書委員会が主体的かつ組織的に活動するように支援する。 菁莪祭や広報活動を通して、言葉による表現活動を推進する。 資料館などの利用による探究的な学びを推進する。	学校生活アンケート	
第1学年	自然・先人・文化・仲間から謙虚に学ぶ。	未来を見据えながら日々の学習や部活動において自己研鑽に励む。 全ての学校行事において修猷文化を主体的に体得し、行動を起こす。 学年独自の生徒企画を通して創造する喜びと感動を仲間と共有する。	授業アンケート、学校生活アンケート、 生徒意識調査	
	「自分」「修猷館」「日本」「世界」「宇宙」のフロンティアを臆せず開拓する。	学校内外の各種プログラムに積極的に参加し、視野を広げる。 あらゆる機会を活かして様々な人に出会い、人間性の涵養に努める。 さまざまな経験で得たものを仲間と共有し、未来につなげる。	授業アンケート、学校生活アンケート、 生徒意識調査	
第2学年	どげんかする！～根拠なき自信～ 修猷生としての自覚し、夢に向かって全力で努力する。	「知性の刺激」を重視し、生徒の成長を支援する。 類型・クラスの志・特性に応じた教育活動の充実を図る。 修猷に軸足を置きつつ、外での学びを通じて、「夢」を「志」へと昇華させる。	授業アンケート、学校生活アンケート いじめに関するアンケート、保護者アンケート 生徒意識調査	
	“Engage!!” 互いを認め合い、強固な仲間の輪を築いた上で、物事にあたる。	仲間を巻き込みながら、切磋琢磨し、共に成長する集団づくりを支援する。 どこまでできるか・どう関わるかを考えさせることで、自らの居場所づくりを促す。 社会の一員として、周囲との信頼関係を築く力を育成する。	授業アンケート、学校生活アンケート いじめに関するアンケート、保護者アンケート 生徒意識調査	
第3学年	自らの志を貫く意思の力と人と人をつなげる社会性を持つ生徒を育てる	質朴剛健であることの価値を共有する 生徒の将来に資する授業、課外、補習を行う 未来を創造する一人の大人としての生きる力を育てる	授業アンケート、学校生活アンケート いじめに関するアンケート、保護者アンケート	
	部活動や大運動会などの行事を通して心身ともに健康な生徒を育てる	葛藤、失敗、ストレスを成長のチャンスとする 部活や行事を通して多様な力を見出し、集団の力とする 大運動会の熱を秋にも冬にも春にも持ち続ける	授業アンケート、学校生活アンケート いじめに関するアンケート、保護者アンケート	